

核兵器の完全廃絶のための国際の日（9月26日）に 賛同する議員声明

私たちは日本の国会議員として、核保有国が持ち続けている 16,300 発にのぼる核兵器がもたらす危険や、それらの兵器が他の国々あるいは非政府主体に拡散する脅威がもたらす危険に懸念を表明します。

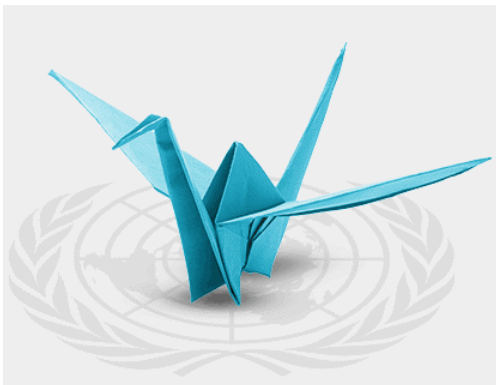
私たちは、とりわけ紛争の激化にともない、これらの兵器が、事故、計算違い、あるいは意図的に使用される危険性が存在することを強く訴えます。私たちは、核兵器のいかなる使用も、それが国家によるものであろうと非国家によるものであろうと、人間の健康、社会、環境に壊滅的な結末をもたらすものであり、国際人道法に対する違反であると考えます。

以上のことから、私たちは、9月26日を「核兵器の完全廃絶のための国際の日」と定めた国連決定を歓迎します。核兵器が人類にもたらす脅威とその完全廃絶の必要性に関する啓発・教育を促進するという「国際の日」の目的に賛同します。

私たちは、世界各地の議会・議員が、市民社会、国連、各国政府とともに毎年この日を記念し、核兵器のない世界の達成に向けた行動をとることを奨励します。

署名：

UNFOLD ZERO について



「核兵器の完全廃絶のための国際の日」は国連総会決議 68/32 によって制定されました。

164 の議会が加盟する「列国議会同盟」(IPU) は、その第 130 回総会の全会一致決議において、同「国際の日」を支持しました。

軍縮に向けた国連の取り組みの前進をめざす新たなプラットフォームである「UNFOLD ZERO」は、この「国際の日」を世界的に促進するための活動を行っています。

UNFOLD ZERO は「PragueVision」「核軍縮不拡散議員連盟」「Basel Peace Office」「平和市長会議 2020 年ビジョンキャンペーン」「Aotearoa Lawyers for Peace」によって設立されました。